

浄化槽法第7条検査「不適正」の内訳

平成22年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（1）工事（施工）上の不備、不注意による不適正

内 容		件数（基）	割合
1	流入管きよに未接続（合併処理）	16	7.1%
2	嵩上げの状況(6)、地上設置型(1)（維持管理困難）	7	3.1%
3	雨水の流入(2)、屋外洗場排水管(5)を流入管きよに接続	7	3.1%
4	特殊排水の流入（工場排水→2）	2	0.9%
5	浄化槽本体の水平の狂い	1	0.4%
6	浄化槽本体点検口蓋の欠落・破損・亀裂・変形	1	0.4%
小 計		34	15.0%

（2）浄化槽設置届書との相違による不適正（処理対象人員不足）

内 容		件数（基）	割合
21	申請建築用途と実際の建築用途が異なる	5	2.2%
22	申請建築物以外の建築物から接続	4	1.8%
23	申請建築面積と実際の建築面積が異なる	4	1.8%
24	その他（無届け）	2	0.9%
小 計		15	6.6%

（3）計画、設計、製造上の不備、不良による不適正

内 容		件数（基）	割合
31	実流入汚水の過負荷（流入水量が多い）	3	1.3%
32	制御装置、調整装置(1)の固定不良（稼働不良）	3	1.3%
33	ろ材、接触材又は担体の浮上	3	1.3%
34	送風機の固定又は稼働状況不良	2	0.9%
35	短時間に多量の汚水が勢い良く流入する（原水ポンプ調整器無し）	2	0.9%
36	槽本体と隔壁（仕切板）接続部不良	1	0.4%
小 計		14	6.2%

（4）その他による不適正

内 容		件数（基）	割合
41	保守点検未実施（110）、清掃に関する指摘事項（19）	129	57.1%
42	放流水の水質不良、BOD値が高い	16	7.1%
43	保守点検の内容が不十分（消毒剤の消失;16）	16	7.1%
45	使用状況が不良（油脂類の流入）	1	0.4%
46	機能障害（生物膜の生成不良）	1	0.4%
小 計		163	72.1%

合 計		件数（基）	割合
		226	100%

浄化槽法第11条検査「不適正」の内訳

平成22年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(1) 保守点検・清掃が不十分による不適正

内 容		件数 (基)	割合
1	清掃未実施 (2668)・回数不足 (34)、記録票の保存状況 (768)	3,483 (13)	67.2%
2	送風機故障 (183)、旋回流・ばっ気攪拌停止	265 (46)	5.1%
3	保守点検未実施 (217)、回数不足 (24)、記録票の保存状況 (4)	248 (3)	4.8%
4	ろ材、接触材の浮上、担体の流出 (逆洗作業の不良又は未実施)	125 (19)	2.4%
5	汚泥の流出状況及び放流水の外観(SS)不良	112	2.2%
6	汚泥管理作業不十分 (104)、清掃通知書未交付 (0)	104	2.0%
7	消毒の実施不良 (68)、消毒装置の固定不良 (4)、消毒装置の接触不良 (1)	73	1.4%
8	調整装置、制御装置の固定・稼働不良。各種装置の稼働不良等	41	0.8%
9	各ポンプ類の故障による槽内満水	16 (1)	0.3%
10	機器類の稼働不良等	2	0.0%
小 計		4,469 (82)	86.3%

(2) 浄化槽の破損・変形による不適正

内 容		件数 (基)	割合
21	本体漏水 (84)、本体の破損・変形・亀裂 (9)	95 (8)	1.8%
22	隔壁等の破損、変形	40	0.8%
23	機器類の固定不良	22	0.4%
24	流入管きよ (14)、放流管きよ (0) 及び升の破損	14	0.3%
25	越流ぜきの不均等越流、内部短絡	6	0.1%
26	本体点検口蓋の欠落・破損	4	0.1%
小 計		181 (8)	3.5%

(3) 工事（施工）上の不備、不注意による不適正

内 容		件数 (基)	割合
31	流入管きよに未接続 (51)・誤接続 (8)、勾配不良等	72 (8)	1.4%
32	放流管きよ勾配不良等による槽内冠水、逆流 (越流せき部)、放流先の異常	36 (2)	0.7%
33	槽本体の深埋め (維持管理困難、破損の恐れ)	33	0.6%
34	屋外洗場・雨水排除管の誤接続 (8)、雨水・土砂等の流入 (5)	15 (1)	0.3%
35	短時間に多量の汚水が勢い良く流入する (原水ポンプ調整器無し)	14	0.3%
36	特殊な排水の流入 (医療、実験、温泉水・受水槽等の排水が流入)	11	0.2%
37	維持管理困難 (設置場所、地上置き→足場・手摺り、蓋が重く開閉困難)	10	0.2%
38	槽本体の水平の狂い、本体浮上・沈下	6 (4)	0.1%
39	空気配管の誤接続 (散気用と逆洗用)	4 (4)	0.1%
小 計		201 (19)	3.9%

(4) 処理能力が低下し、老朽化 (旧構造浄化槽) 等による不適正

内 容		件数 (基)	割合
41	長時間ばっ気方式 (単独処理)	68	1.3%
42	施設全体の老朽化	60	1.2%
43	腐敗方式 (平面酸化型)	23	0.4%
44	腐敗方式 (散水ろ床型)	3	0.1%
小 計		154	3.0%

(5) その他による不適正

内 容		件数 (基)	割合
51	実流入汚水量の過負荷 (実流入汚水量)	85 (6)	1.6%
52	処理対象人員不足、無届け (2) 等	39 (6)	0.8%
53	機能障害 (生物膜の生成不良) 及び放流水の外観不良	20	0.4%
54	単位装置の水流の状況 (閉塞等)	19	0.4%
55	使用状況が全般的に悪い。(油脂類、洗剤の流入)	12	0.2%
小 計		175 (12)	3.4%

合 計		件数 (基)	割合
		5,180 (121)	100%

※件数 (基) 欄の () 内数字は、11条検査 (BOD測定) における不適正件数である。